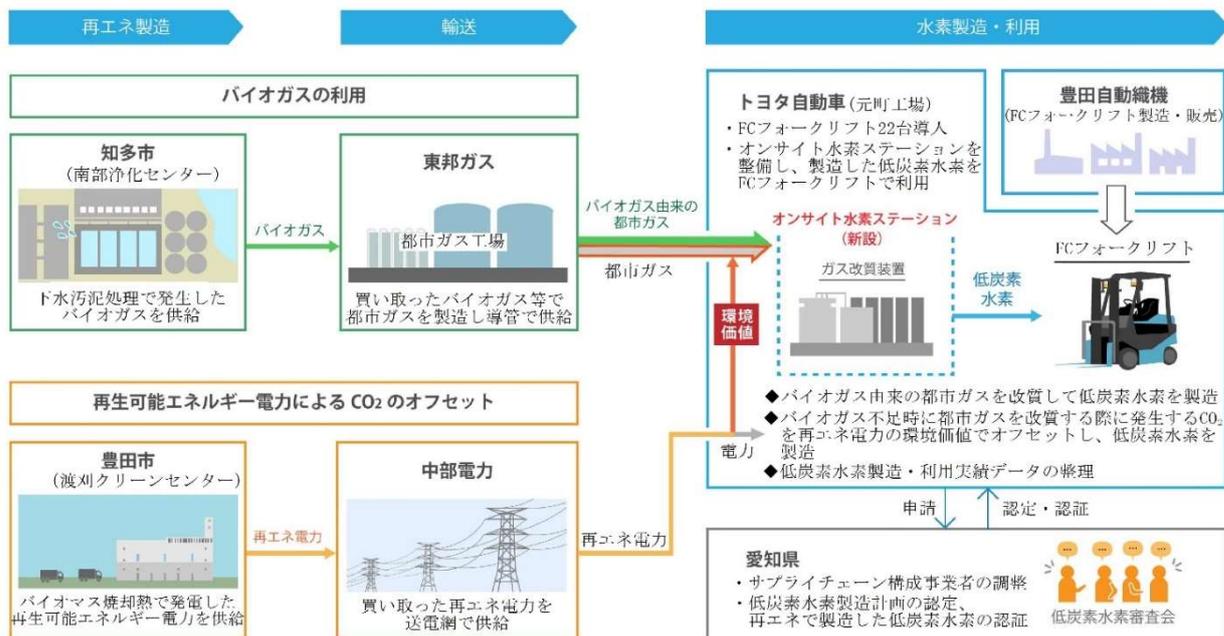


(参考2) 各プロジェクトの概要

1 知多市・豊田市再エネ利用低炭素水素プロジェクト

- 東邦ガスが知多市南部浄化センターで下水汚泥処理により発生したバイオガスを原料として都市ガスを製造し、既存の都市ガス導管網を通じてトヨタの元町工場へ輸送する。
- このバイオガス由来の都市ガスを原料に、トヨタの元町工場に設置したガス改質装置で低炭素水素を製造、圧縮、貯蔵し、工場内で使用する豊田自動織機製の燃料電池フォークリフトで利用する。
- また、豊田市渡刈クリーンセンターの廃棄物焼却により発生した熱で発電した再エネ電力を中部電力がトヨタに供給することで、バイオガス不足時に使用した都市ガス使用分のCO₂排出量はオフセットする。



2 鈴木商館セントレア貨物地区水素充填所

- 株式会社鈴木商館が中部国際空港貨物地区に設置した水素製造設備において、再生可能エネルギー（太陽光）を活用した低炭素水素を製造し、中部国際空港貨物地区内で稼働する燃料電池フォークリフトの燃料として供給・利用する。



3 豊田自動織機高浜工場 再エネ利用低炭素水素プロジェクト

- 株式会社豊田自動織機及び東邦ガス株式会社による共同プロジェクト。
- 株式会社豊田自動織機が同社高浜工場に設置した水素製造設備において、再生可能エネルギー（太陽光）を活用した低炭素水素を製造し、高浜工場内で稼働する燃料電池フォークリフトの燃料として供給・利用する。
- 再生可能エネルギー（太陽光）を活用した水素で賄えない場合には、東邦ガス株式会社が同社技術研究所水素サプライセンター（東海市）で都市ガスから製造する水素をカードルから供給する。この場合、水素製造時に発生する二酸化炭素排出量を、J-クレジット※を用いてオフセットする。

※ 再生可能エネルギーの導入等による CO₂ 排出削減量等をクレジットとして国が認証したもの。J-クレジットを活用することにより水素製造に伴う CO₂ 排出量を相殺（カーボンオフセット）することができる。

